

企画展

浮世絵 植物園へ ようこそ

Welcome to Ukiyo-e Botanical Garden!

2024.4/6(土) ▶ 5/12(日)

- ミュージアムトーク(展示解説)／4月6日(土)午後1時30分～ 当館学芸員 ※要観覧料
 - 開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ■休館日／4月8日、15日、22日、5月7日
 - 入館料／大人 500円(450円) 高・大学生 300円(270円) ■5月1日(水)は観覧料無料
- ※()は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※障がい者手帳等をお持ちの方とその付き添い1名は半額



小林清親《花模様 文化の頃》当館蔵



那珂川町馬頭広重美術館

〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116番地9
TEL.0287-92-1199 FAX.0287-92-7177 <http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/>

植物と人々。

浮世絵から見る、その繋がり

花見や園芸、衣食住など、人々と植物の関わりは長く、そして深くありました。江戸時代も例外ではなく、浮世絵からその関わりを見ることができます。本展覧会では、歌川広重の花鳥画、江戸時代の園芸書や名所ガイドブックなど、浮世絵と資料から植物と人々の関わりを辿ります。



二代歌川広重
《江戸名勝園会 飛鳥山》当館蔵



歌川広重
《富士三十六景 東都一石ばし》当館蔵

お花見に園芸、 植物の姿を楽しむ江戸時代

平和な時間が長く続いた江戸時代は園芸文化が発展した時代。桜や朝顔など数々の園芸品種が誕生し、園芸書も発行されていました。また、桜や梅などの花見の名所も多くあり、人々は季節の植物を楽しみました。

これが朝顔だって？
たまげたなあ〜!!



美しさだけじゃない、 暮らしを支える植物

家屋や橋、船などほとんどの物が植物で造られていた江戸時代。当時の風景画をみるとその当時の多様性を感じることができます。他にも食欲を満たす野菜、衣服の素材や装飾模様も植物。江戸時代の暮らしを見渡すと、植物に囲まれているのです。

稲は食べるだけじゃない！
ワラまで有効活用するぞ！



成田屋留次郎著
《両地秋》部分 当館蔵

●ミュージアムトーク
講師／当館学芸員
日時／4月6日(土) 13:30～

●展覧会講座：日本画の絵具にふれてみよう
講師／当館学芸員
日時／4月27日(土) 13:30～15:00
定員／8名 ※要事前申込(定員に達し次第締め切り)

●花の風まつり観覧料無料
日時／5月1日(水)

関連 イベント

●第一展示室ミニ展示
川村清雄 — その男、油絵師を名乗る侍 —

旗本の家に生まれ、徳川家に仕える中、幕府の終焉を見た川村清雄(1852～1934)。開国後、清雄は西欧に渡って油絵技術を学び、帰国後は日本文化を意識した油絵を描きました。金箔絹地や漆地に油絵を描くなど異色の画業をご紹介します。

※イベント詳細、申し込み方法等につきましては当館HPをご覧ください。お問い合わせください。第一展示室ミニ展示は企画展と共にご覧いただけます。



川村清雄《芥子》当館蔵

毎月第3日曜日は家庭の日

中学生以下のお子様をお連れのご家族は入館料が無料になります。

公共交通機関をご利用の方は

- JR宇都宮線氏家駅から関東自動車バス「馬頭車庫行き」で約60分「室町(旧馬頭役場前)」下車 徒歩3分
- JR烏山線烏山駅からコミュニティバス「那珂川町役場行き」で約40分「室町(旧馬頭役場前)」下車 徒歩3分
- お車をご利用の方は
- 東北自動車道宇都宮インターから国道293号で那珂川町へ
- 東北自動車道矢板インターから国道4号→県道74号さくら市喜連川→国道293号で那珂川町へ
- 常磐自動車道那珂インターから国道118号→国道293号で那珂川町へ
- レンタカーをご利用の方は
- 宇都宮駅・那須塩原駅から

 那珂川町馬頭広重美術館

〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116番地9 TEL.0287-92-1199
FAX.0287-92-7177 <http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/>

